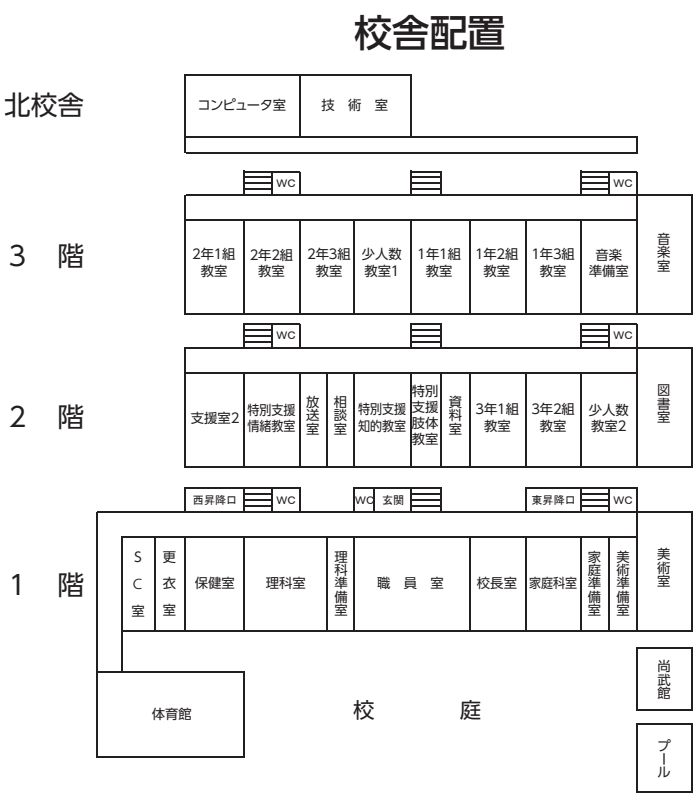


在籍生徒数						
学 年		1	2	3	特別支援学級	計
学級数		3	3	2	2	10
生徒数	男	43	40	40	4	127
	女	32	43	27	1	103
	計	75	83	67	5	230

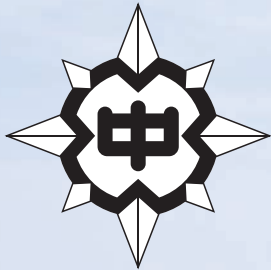


授業風景

No.	役 職	氏 名	学年学級	担当教科	主な校務分掌	部 活 動
1	校 長	軽部 敦子				
2	教 頭	伊藤 将人		技 術	校務全般・PTA・情報CIO	
3	主幹教諭	渡邊 幸治		数 学	教務主任	バレーボール
4	教 諭	野田 豊		技 術	初任研担当・スクールバス	美 術
5	教 諭	菅原 幸二	いちよう学級	特別支援教育・理科	特別支援主任・コーディネーター	ソフトテニス
6	教 諭	横山 綾香	やまゆり学級	特別支援教育・理科	理科主任・生徒会担当	陸 上 競 技
7	講 師	平 和音	特支学級副担任	特別支援教育・音楽	音楽科主任	吹 奏 楽
8	教 諭	山下美貴子	育休			
9	教 諭	八島 通子	1学年主任	数 学	数学科主任・志教育	陸 上 競 技
10	教 諭	脇坂 邦浩	1年1組	数 学	防災主任・生徒会担当	卓 球
11	教 諭	永沼 優香	1年2組	英 語	福祉・人権教育	吹 奏 楽
12	教 諭	加藤 廉	1年3組	国 語	生徒会担当	卓 球
13	教 諭	前原 脩志	1年副担任	保健体育	中体連理事・部活動担当	サ ッ カ ー
14	教 諭	棟方 亜季	2学年主任	英 語	地域連携	バレーボール
15	教 諭	鎌田 直矢	2年1組	数 学	研究主任	剣 道
16	教 諭	沼田穂乃花	2年2組	保健体育	部活動担当	バスケットボール
17	教 諭	大沼 聖良	2年3組	社 会	生徒会担当	野 球
18	教 諭	谷津 志乃	2年副担任	美 術	給食主任・美術科主任	美 術
19	教 諭	須藤 正文	3学年主任	英 語	進路指導主事・英語科主任	バレーボール
20	教 諭	高野 裕理	3年1組	国 語	道德推進教師	バドミントン
21	教 諭	齋藤 充志	3年2組	理 科	生徒指導主事	野 球
22	教 諭	角 春樹	3年副担任	社 会	特活主任・生徒会担当	バスケットボール
23	教 諭	大和 啓介		国 語	学び支援専任教員・いじめ不登校対応	バドミントン
24	養護教諭	長田 菜月			保健主事	
25	総括主幹兼事務長	高橋 正樹			事務一般・経理	
26	業 務 員	土田 晃			用務一般	
27	学校司書	江畑ともみ			図書館	
28	教員業務支援員	山田 裕樹			数学学習等支援補助	
29	教員補助者	照井 智江			特別支援学級等支援補助	
30	教員補助者	安達 恭子			学び支援教室支援補助	
31	教員補助者	草刈 直也			特別支援学級等支援補助	
32	初任研後補充	狩野 陽子		英 語	初任研後補充	
33	免外解消講師	木原 広美		家 庭	免外解消講師	
34	S C	藤田 宏紀			スクールカウンセラー	
35	S S W	渡邊 泰司			スクールソーシャルワーカー	
36	A L T	Ahmed Zeha Shameem				



学校行事等	
4 月	始業式 入学式 避難訓練 新入生歓迎会
5 月	丸森中フェスティバル 生徒会総会 地区中体連総合体育大会
6 月	地区中体連総合体育大会 地区中体連陸上競技大会 避難訓練・引渡し訓練
7 月	全校集会 定期考査 教育相談
8 月	全校集会
9 月	修学旅行（3年） 職場体験（2年） 地域学習（1年） 地区中体連新人大会
10月	終業式 始業式 文化祭・合唱コンクール
11月	避難訓練 生徒会役員選挙 教育相談
12月	全校集会
1 月	全校集会
2 月	定期考査 3年生を送る会
3 月	卒業式 修了式



令和7年度

校章全体は、空に輝く太陽をイメージし、丸森中学校で学ぶ生徒が太陽のような明るさをもってもらいたいという思いを込めている。校章にある4つのMの形は、丸森の山々を表し、それはまた「水(Mizu)と緑(Midori)の輝く町(Mati), 丸森(Marumori)」の4つのアルファベットの頭文字でもある。8つの尖った部分は、丸森、金山、筆甫、大内、小斎、館矢間、大張、耕野の8地区を表しており、8つの小学校が1つの中学校に集まる意。同時に東西南北、四方八方の広がりをも意味している。

学校要覧

丸森中学校校歌

作詞 武田こうじ
作曲 内藤 淳一

一
森はやさしく
未来に寄りそう
昨日の夢を、言葉にできた今日
新しい自分に出会う
果てしなく広がる宇宙（おもい）
大切なこと
私の心にふれて
考えている

二
水はうつくしく
過去に話しかける
言葉にできない笑顔
自分を信じてみよう
友だちの声は故郷
一人じゃないこと
あなたの心にふれて
学んでいる

三
丸森の空の色を
知っているんだ
涙は熱く溢れて
わたしたちは光
次の一步
照らしている

宮城県伊具郡丸森町立丸森中学校

〒981-2167 宮城県伊具郡丸森町字田町南24番地2
電 話：(0224) 72-2145
F A X：(0224) 72-1516
Eメール：marumori-jh@marumorischool.jp

令和7年度丸森中学校学校経営の概要

【生徒の実態】

- 素直でまじめなである反面、課題から発展的に学ぶ自主性・積極性に欠けていたり、自己の適性・能力を把握できていなかったりする。
- 言語表現に乏しく、自己表現が苦手である。
- 相手を思いやり考えることのできる生徒が多い。
- 行事に積極的に関わり団結して盛り上げられる。

【家庭・地域の願い】

- 志に向かって学びがいのある学校
- 丸森の未来を思い、地域や保護者と連携し、みんなで育む安心・安全な学校
- 明るいあいさつと温かい対話で支え合う働きがいのある学校
- 教育活動がわかる開かれた学校

【教育環境づくり】

- 教員の働き方改革、生徒の情報活用能力の向上のためのICT環境の整備・活用
- 郷土を思い・未来に向けて「丸森学」に触れ、豊かな心を育むための人材・教材の活用
- 安心・安全を維持するための定期的な設備点検
- 個別最適化と協働的な学びの推進と多様な学びの空間整備

心の教育の充実

- 年35時間道徳の授業の充実
(重点事項：思いやりと感謝)
- いじめに向かわない、互いのよさを認め、一人一人がかけがえのない存在であることを大切にしたい人権教育の推進
- 望ましい人間関係を築く学級活動
- 主体的に考え、行動する生徒会活動

保健体育・防災安全教育の推進

- 体育・部活動における基礎体力の向上
- 健康で安全に生活する実践力と習慣化
- 教職員の研修による危機管理の意識化とそれに基づく防災教育
- 台風19号を教訓とした防災意識の向上

校訓

【志 学】 【至 誠】 【修 練】

教育目標

志をもって学び続ける生徒の育成

目指す生徒像

- ◎課題意識をもち、常に考え、志をもって進んで学ぶ生徒
- ◎自分を大切にし、互いに思いやりと感謝の心を表せる生徒
- ◎健康に努め、可能性に挑戦し、あきらめずに努力する生徒

特色ある教育活動

- ◎総合的な学習の時間
志教育(R6～R7県指定)実践体験型PBLによる地域課題解決学習
- ◎特別活動・学校行事
生徒主体の「スポーツフェスティバル」「合唱コンクール・文化祭」
- ◎国際理解・外国語学習への関心
台湾・端芳國中との交流(R6.11姉妹校提携式)
- ◎学び支援教室「ほっとルーム」運営
集団での学びに課題を抱える生徒の居場所づくりとチーム学校による登校支援

【目指す学校像】

- 志に向かって学びがいのある学校
- 丸森の未来を思い、地域や保護者と連携し、みんなで育む安心・安全な学校
- 明るいあいさつと温かい対話で支え合う働きがいのある学校

【目指す教師像】

- 協働で学び合い生徒の学ぶ意欲を引き出す教師
- 生徒理解に努め、心に寄り添う教師
- 生徒の学びを保障する信頼される教師

校内研究の推進と学力向上

研究主題「志をもって学び続ける生徒の育成」
～学び方を学び、振り返りを通して自己調整できる指導を通して～

- ①年間シラバスにより学習の見通しをもたせ、学習計画を立てて実践できるよう指導する。
 - ②学習の振り返りを通して、学び方を考え自己調整できるようPDCAサイクルを確立させる。
- 小中高の学びの連続性を踏まえ、家庭と連携した家庭学習の定着
 - 主体的・対話的で深い学びの実現と各種学力調査結果等を活用した授業改善
 - 指導方法工夫改善に努めた授業実践

志教育の展開

- ①郷土愛を育み、学ぶ意欲を高める「丸森学」・地域と連携した実践体験型PBLによる志教育の推進
- ②多様で望ましい職業観を育む体験学習
- ③個々の適性を踏まえ、将来を見据え、進路を切り開く進路指導の展開

特別支援教育の充実

- ①長所を伸ばす個のニーズに応じた教育支援
- ②共に学べる交流・共同学習の推進

